

教職員の勤務状況等調査結果【令和4年11月のまとめ】

令和5年1月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係



毎月の勤務状況調査に御協力いただきありがとうございます。令和4年11月の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。

集計結果を確認いただき、過日発出された教職員の多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」とあわせて今後の充実した働き方の参考としていただければと思います。引き続き、働き方改革・業務改善を通して「子どもと向き合う機会の充実」を進めてまいります。



11月の状況について ー時間外在校等時間が減少しています

■県立学校・市町村立学校の全校を対象として調査が行われている過去3年間の11月の時間外在校等時間の状況を見ると、月45時間以上者の割合が全ての校種で減少しました（時間外在校等時間が短くなりました）。令和3年度は、時間外在校等時間45時間以上者の割合が一旦増加しましたが、今回の調査では減少し、校種によっては過去3年間の中で最も少なくなっています。

■特に中学校の時間外在校等時間について、学校単位で平均が45時間を超えた学校数が令和3年度では93校に対し、本年度は71校となりました。時間外労働時間の縮減に向けて学校全体で取組を進めていただいている結果かと思えます。

■社会情勢や学校の業務の一部もコロナ禍前に戻りつつある中で、教職員・学校・教育委員会における業務改善の工夫、業務の効率化に向けた取組の成果の一部と考えられます。



「提言R5」の実現に向けた取組をお願いいたします

■昨年12月23日に発出された「提言R5」をご覧くださいましたでしょうか。

10月に実施された教職員の業務状況等調査の結果などを踏まえ、学校の様々な行事や業務について、「廃止・縮小・ICT化」の観点による具体的な業務改善の取組例として示されました。

【学校向け提言の例】

ー廃止が可能な業務例ー

定例的な家庭訪問／夜間の電話対応／
夏休みの水泳指導・プール開放

ー縮小を推奨する業務例ー

卒業式・始業式などの式典／マラソン（持久走）大会
運動会・体育祭など／学校評価

ーICT化を推奨する業務例ー

児童生徒の欠席連絡／各種アンケート・意向調査
その他、テストの作成や採点におけるフォームの活用、
学校からの通知等でGoogleWorkspaceなどの共通
プラットフォームの活用など

※今回の提言では、学校向けの提言の他に、教育委員会が学校現場の多忙化解消に向けて取り組む業務改善例を示した「提言R5（教育委員会向け）」や、保護者や地域、関係団体向けに示した「提言R5（保護者・地域・関係団体向け）」があります。詳細は下記リンクを参照してください。

■各校や市町村によっては、既に実践済や検討中の取組があったり、地域や学校の実態によって慎重な検討を要する内容が含まれたりしていることもあるかと思いますが、子どもと向き合う時間の確保につなげるため、検討を進めていただければと思います。

[【12月23日】教職員の多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」について](#)
((教) 学校人事課) - 教育委員会 - 群馬県ホームページ(学校人事課)
(pref.gunma.jp)

提言 R 5

～子どもたちに豊かな学びを届けるために～

学校向け

令和4年12月

教職員の多忙化解消に向けた協議会

昨年度の提言R4において、業務の在り方や学校行事等について、前例や慣例にとらわれることなく、教育的意義を踏まえながら廃止や縮小も含めて検討することが示され、その検証として令和4年10月～11月に県教委が実施した教職員の業務状況等調査では、学校等において改善が進められている業務や行事等が明らかになりました。

本調査結果を踏まえ、各学校において更に業務や行事等を見直す際の参考として、「廃止・縮小・ICT化」に取り組むべき業務や行事等について、以下の通り提言します。教職員が自身の健康を維持するとともに、子どもたちとしっかり向き合う時間を増加させることで教育の質を高め、豊かな学びを届けることを目指し、この提言を踏まえて、学校の実情に合わせた取組を、地域や関係者の理解を得ながら一層進めていただきますようお願いいたします。

「廃止」が可能な業務例

■定例的な家庭訪問

特に小・中・義務教育学校などで実施されている定例的な家庭訪問を廃止し、来校形式やオンラインでの面談に代えることで、教員・保護者双方の負担を軽減することができると考えられます。児童生徒の安全に関わることなど、必要な家庭訪問については引き続き実施し、保護者との連携を深めることは大切で、

■夜間の電話対応

勤務時間外のうち、特に夜間については留守番電話や自動応答による対応とすることで、時間外の業務を削減し、退勤時間を早めることができると考えられます。なお、緊急性の低い連絡や報告などは学校・保護者双方が勤務時間内の連絡ができる体制づくりを心掛けるとともに、緊急時の連絡方法について教育委員会と検討をする必要があります。

■夏休みの水泳指導・プール開放

夏季の高温日が多くなった状況や家庭環境の変化を踏まえ、教育委員会と協議し、夏休み中のプール開放を見直すことで、児童の登下校にかかる安全確保・健康管理の面で保護者の負担や、水泳指導・プール管理にかかわる教職員の負担を軽減することができると考えられます。

「縮小」を推奨する業務例

■式典（卒業式・始業式など）

内容削減、来賓・招待者の精選などにより式典を簡略化することで、事前準備や当日の運営の軽減を図ることができると考えられます。

■運動会・体育祭など

児童生徒の登校や活路場面を考慮し、競技種目の精選、練習時間の精選、半日開催など工夫することで、児童生徒・教職員双方の負担を軽減することができると考えられます。

■学校評価

評価に必要な内容を精選し、実施回数や評価項目を限定することで、経営の重点や明確にした学校運営の改善につなげることができると考えられます。また、ICTの活用も有効です。

■授業時数（余剰時数の削減）※主に義務教育

年間授業時数を適切に計画し、余剰となる時数の削減に努めることで、削減された時数を事務処理の時間や休職取得の促進などに充てることができると考えられます。

■マラソン（持久走）大会

なまの授業中や校地内での実施などにより、道路使用許可申請や、安全確保にかかわる教職員配置、保護者の動員など、大会の準備・運営の負担を軽減することができると考えられます。

■事前活動※主に義務教育・清掃活動

事前活動の縮小や清掃日の設定など、学校の日程を工夫することで、放課後の学習作業や部活動の時間を増やすことができると考えられます。

■学習指導案

目的に応じて、必要な要素を整理し示す学習指導案形式にすることで指導のポイントを明確にし、作成にかかる負担を軽減することができると考えられます。

その他

遠征日や長期休業中・放課後などにおける補習対応の精選、学習発表会の内容精選などが考えられます。

「ICT化」を推奨する業務例

■児童生徒の欠席連絡(Google Formsなど)

紙の電話対応を精選し、複数の教職員が欠席の連絡を同時に実施することで、教職員が余裕をもって児童生徒を迎え入れることができると考えられます。保護者も自由な時間に連絡ができるメリットもあります。

その他

テストの作成や採点（フォームの活用）、検定や健康観察、学校からの通知や卒業・学級進級の配布（Google Workspaceなど）などの活用も有効です。

■各種アンケート・意向調査

児童生徒向け・保護者向けともにアンケートフォームを活用した調査を行うことで、配布の回数、集計作業の時間削減を図ることができると考えられます。印刷の保管、廃棄にかかわる費用や負担を軽減することができると考えられます。

業務や行事等の廃止・縮小については、学校の実情や教育的意義を踏まえ、代替案の実施とあわせて検討をお願いします。

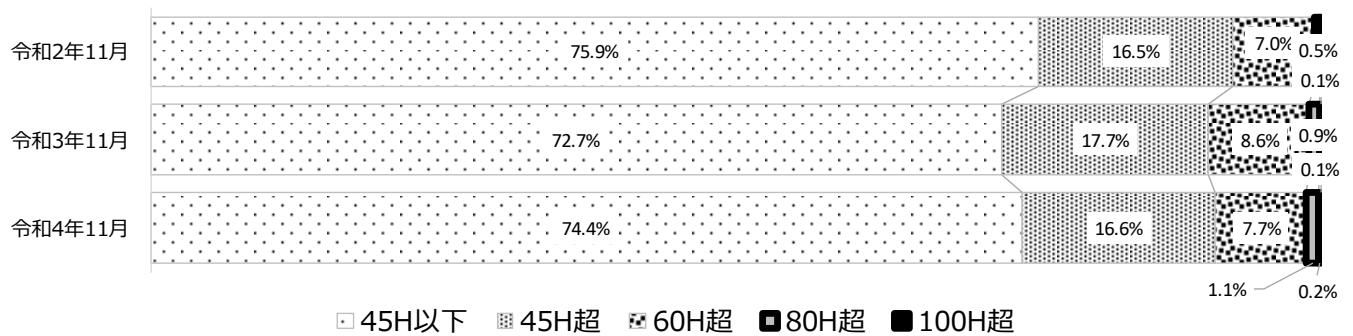
部活動運営（地域移行や教職員の負担軽減に向けた部活動運営）については、「群馬県部活動運営の在り方検討委員会」より令和5年2月に提言が発出される予定です。

タイトルをクリックすると、掲載画面に接続されます。または、「群馬県教委 多忙化解消」で検索してください。

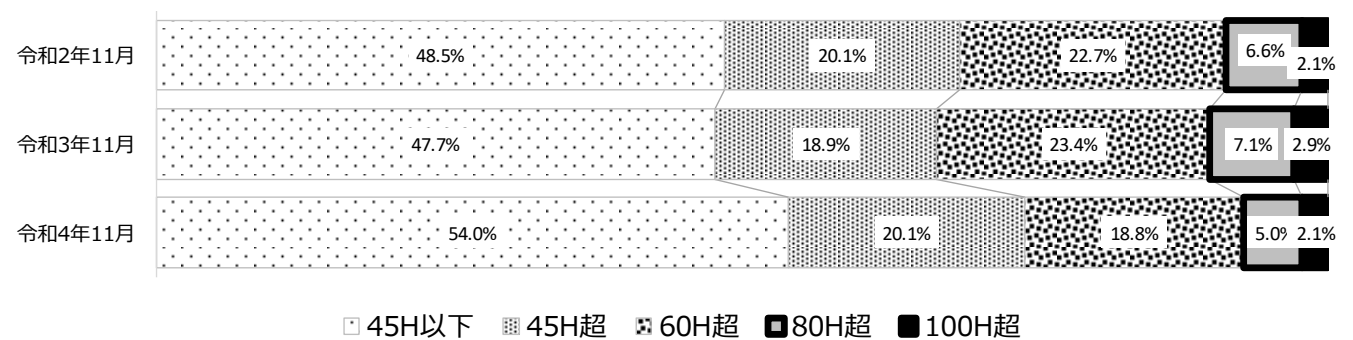
時間外在校等時間の状況【11月の経年変化】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

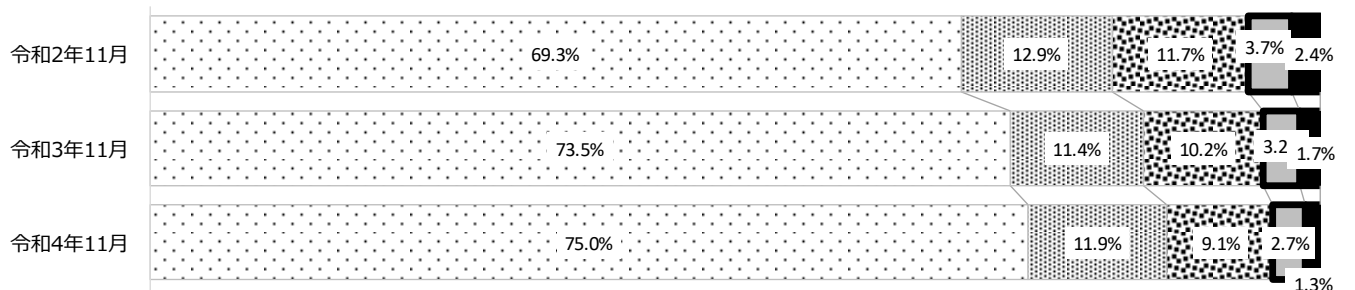
1 小学校の状況



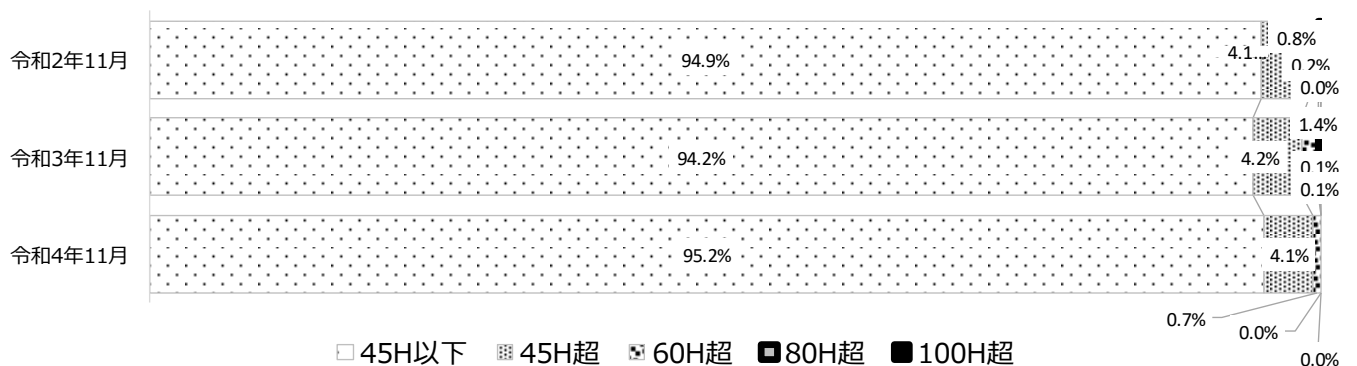
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



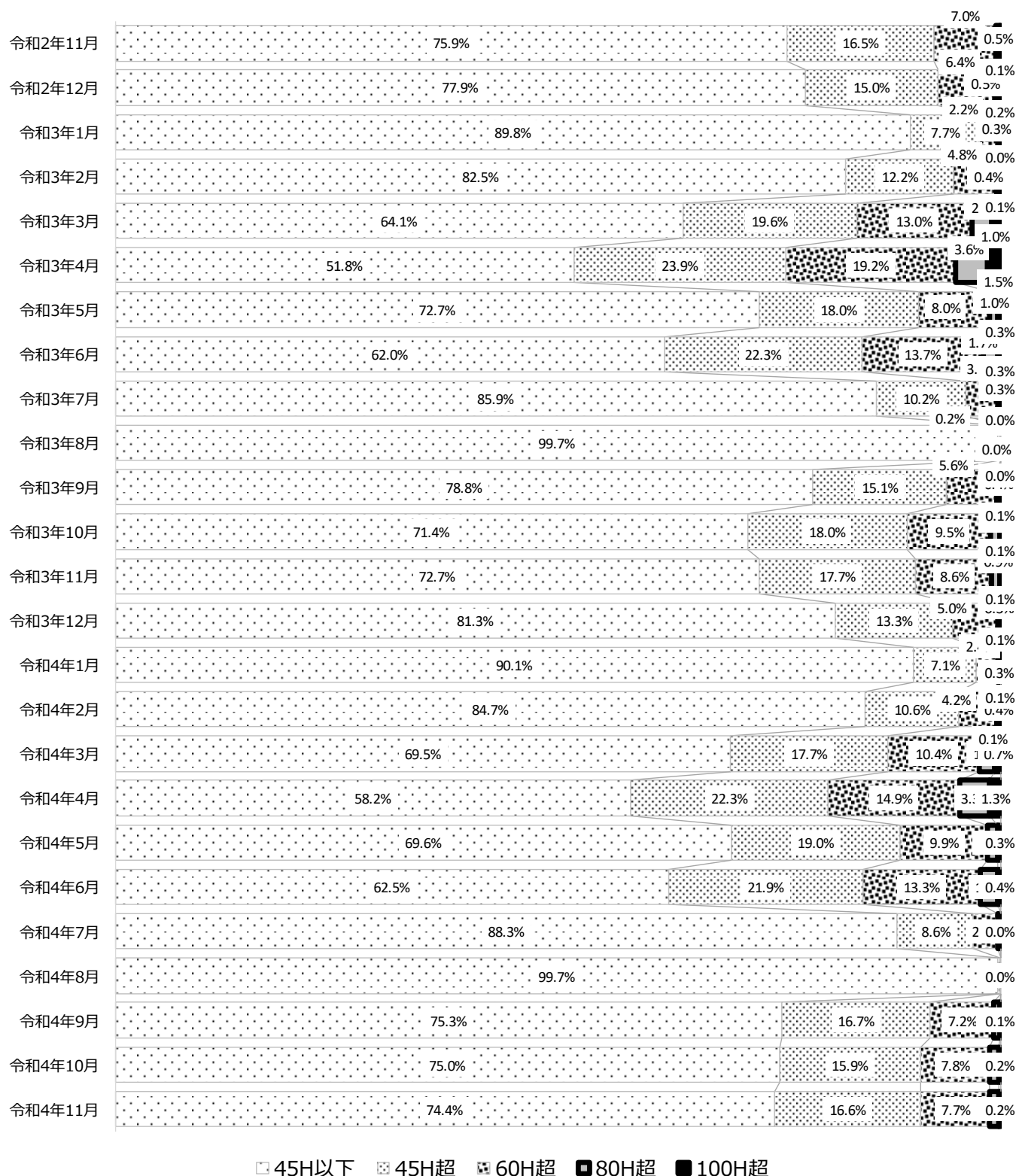
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



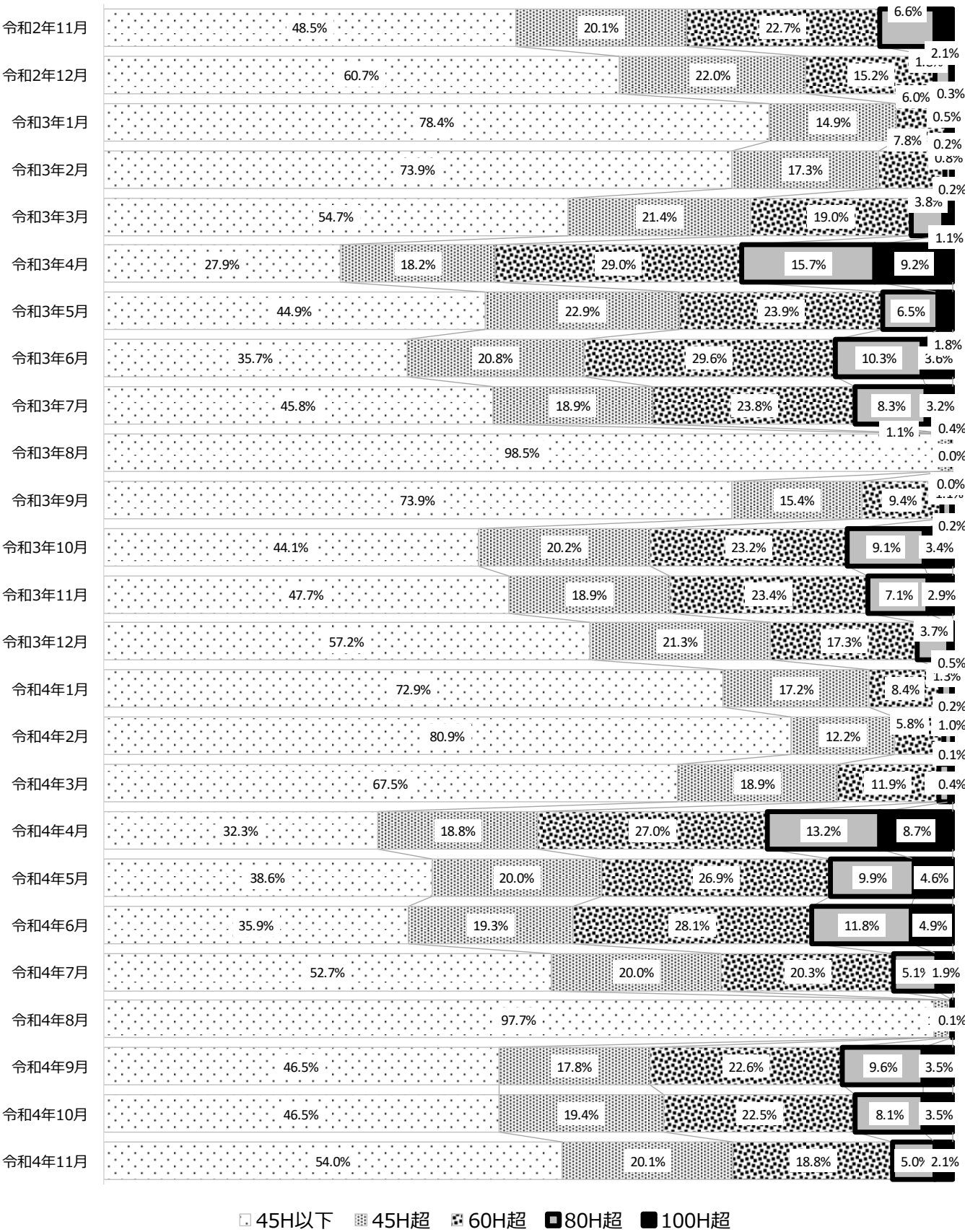
時間外在校等時間の状況【令和2年11月～】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

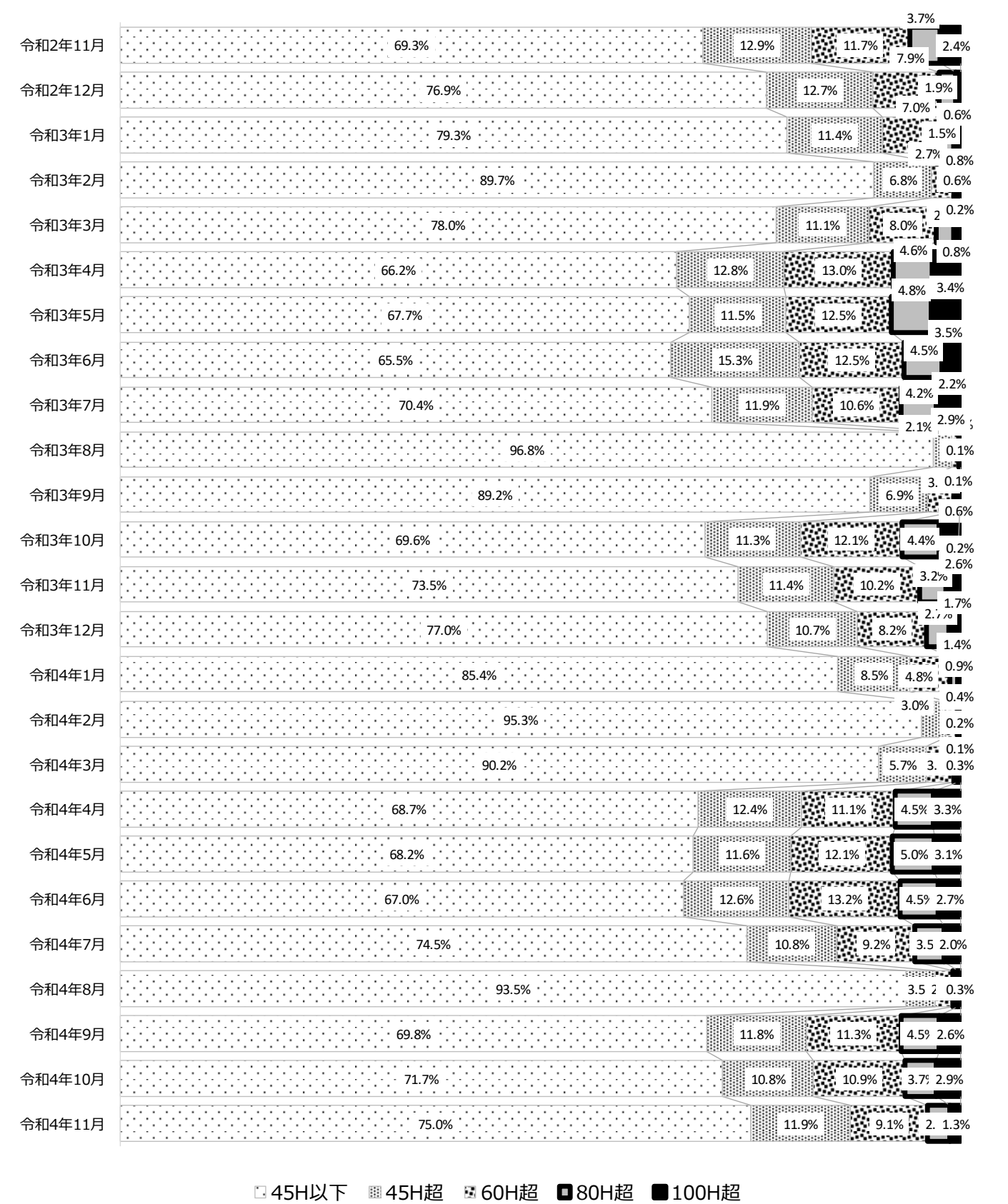
1 小学校の状況



2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）

